修士課程等における日本学生支援機構奨学金の返還免除内定候補者　　申請書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学籍番号(学外の方は受験番号) |  | 氏名 |  | 整理番号 | (学生入力不要) |

|  |
| --- |
| １　進学予定の修士課程等が該当する方に「○」を入力してください。両方に該当する場合も、自身がより該当すると思う方を選択してください。 |
|  | 科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・ＡＩ、量子、マテリアル等） |
|  | 大学の強みや地域の強み等を生かした分野 |

令和3年4月1日に施行された「科学技術・イノベーション基本法」において、これまで科学技術の規定から除外されていた人文・社会科学の分野も、同法の改正により科学技術の範囲に位置付けられており、情報・ＡＩ、量子、マテリアル等の分野と連携しているような分野であれば、人文・社会科学の分野であっても「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・ＡＩ、量子、マテリアル等）」を選択することができます。

（参考）科学技術・イノベーション基本法　第3条第2項

科学技術・イノベーション創出の振興に当たっては、広範な分野における各分野の特性を踏まえた均衡のとれた研究開発能力の涵養、学際的又は総合的な研究開発の推進、基礎研究、応用研究及び開発研究の調和のとれた発展、学術研究及び学術研究以外の研究の均衡のとれた推進並びに国の試験研究機関、研究開発法人、大学等、民間事業者その他の関係者の国内外にわたる有機的な連携について配慮されなければならず、また、自然科学と人文科学との相互の関わり合いが科学技術の進歩及びイノベーションの創出にとって重要であることに鑑み、両者の調和のとれた発展について留意されなければならない。

---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

　　２ ～ ４の審査の観点は以下のとおりです。参考にしてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 入力内容 | 審査の観点 |
| ２　学士課程（学部）の学習・研究活動において努力したこと、成し遂げたこと | ・内容が具体的で明確であるか・学士課程（学部）の学習・研究活動において努力したこと、成し遂げたことが優れているか |
| ３　修士課程入学後のビジョン（学びを希望する理由・研究計画・学業以外） | ・学びを希望する理由が具体的で明確であるか・研究計画が具体的で明確であるか、また優れているか・学業以外のビジョンが具体的で明確であるか |
| ４　修士課程修了後のキャリアイメージ及び大学院で学んだことをどのように社会に還元していきたいか | ・大学院修了後のキャリアが具体的にイメージできているか・大学院修了後のキャリアイメージが修士課程において学びを希望する理由や研究計画等との整合性があるか・学んだことを社会に還元することが具体的にイメージできているか |

|  |
| --- |
| ２　学士課程（学部）の学習・研究活動において努力したこと、成し遂げたことを1000字程度で記載してください。　　なお、論文掲載や学会発表等の業績がある場合には次ページ「業績一覧」に当該業績を記載するとともに、その概要等を示す資料を提出してください。 |
| ※必ず1ページに収まるように作成し、フォントは変更しないでください。※1ページに収まるのであれば図表を挿入しても構いません。※この文章は作成時、削除してください。 |

業績一覧表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 業績 | 資料No. |
| 研究論文学会発表 |  | No.１ |
| 研究論文学会発表 |  | No.2 |
| 研究論文学会発表 |  | No.3 |
| 研究論文学会発表 |  | No.4 |
| 研究論文学会発表 |  | No.5 |

【業績一覧表 作成方法】

・以下、記入例に従い作成してください

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 記入例 | 業績 | 資料No. |
| 研究論文 | ①本人氏名、共著者名、②論文名、③学術雑誌名（該当頁）、④発行日（西暦）※「本人氏名」にアンダーラインを付してください。※論文作成に最も貢献した者である場合にはその旨を記載してください。 | No.X |
| 学会発表 | ①本人氏名、共同発表者名、②題目　③会議名、④主催者名、⑤発表日（西暦）、⑥ポスター賞受賞等※「本人氏名」にアンダーラインを付してください。※学会発表に最も貢献した者である場合にはその旨を記載してください。 | No.X |

　・提出する根拠資料の右上に業績一覧表の右端に記載の「資料No.」を記載してください。

・提出する根拠資料が複数ある場合、「資料No.」ごとにPDFにするのではなく、すべてまとめて一つのPDFにしてください。その際、「資料No.」順に並ぶようにしてください。

・「研究論文」の根拠資料は論文全体のコピーではなく、論文の概要が確認できるものを提出してください。ただし、「著者名」、「論文名」、「学術雑誌名」が確認できるものとしてください。

・「学会発表」の根拠資料は発表内容全体のコピーではなく、発表内容の概要が確認できるものを提出してください。ただし、「発表者名」、「発表題目」、「会議名」が確認できるものとしてください。

・自身が「共著者」、「共同発表者」であるものを含めて構いません。

・研究論文／学会発表以外の内容を記載したい場合は「研究論文／学会発表」を適宜修正してください。

・上表に入りきらない場合はこの【業績一覧表 作成方法】を削除して構いません。

|  |
| --- |
| ３　修士課程入学後のビジョン（学びを希望する理由・研究計画・学業以外等）を1000字程度で記載してください。 |
| ※必ず1ページに収まるように作成し、フォントは変更しないでください。※1ページに収まるのであれば図表を挿入しても構いません。※この文章は作成時、削除してください。 |

|  |
| --- |
| ４　修士課程修了後のキャリアイメージ及び大学院で学んだことをどのように社会に還元していきたいかを500字程度で記載してください。 |
| ※必ず1ページに収まるように作成し、フォントは変更しないでください。※1ページに収まるのであれば図表を挿入しても構いません。※この文章は作成時、削除してください。 |